

国際ロータリー第 2640 地区

2018-2019 年度

ガバナーエレクト 中野 均

HITOSHI NAKANO



2018-2019 年度 ガバナーエレクト事務所

〒640-8331 和歌山市美園町 3 丁目 34 番地

けやき ONE 301 号室

TEL:073-426--2640 FAX:073-426-2660

E-mail: nakano@rid2640g.com

2018-2019 DGE OFFICE

Keyaki ONE 301 3-34 Misonocho Wakayama City
Wakayama 640-8331 Japan

Phone:+81-73-426-2640 Fax:+81-73-426-2660

E-mail : nakano@rid2640g.com

2019-2020 年度 RI テーマが発表されました 「ロータリーは世界をつなぐ」

マーク・ダニエル・マローニー国際ロータリー会長エレクトは、より力強いロータリーを築くためのビジョンを発表し、地域社会とのつながりを広げるために、革新的な会員モデルを導入していくことをクラブのリーダーに呼びかけました。



ジケーター・ロータリークラブ(米国アラバマ州)会員のマローニー会長エレクトは 1 月 14 日(月)、米国カリフォルニア州サンディエゴで開催中の次期ガバナーエレクトへの研修行事である国際協議会で、2019 - 20 年度の会長テーマ、「ロータリーは世界をつなぐ」を発表しました。

「最初の強調事項はロータリーを成長させることです。私たちの奉仕活動やプロジェクトのインパクトを成長させること、また、最も重要なのは、これからより多くのことを達成するために、会員を増やすことです」とマローニー会長エレクトは述べました。ロータリーでの経験の中核にあるのは「つながり」であるとマローニー会長エレクトは信じています。

「ロータリーで私たちは、お互いの違いを超え、深く、意義あるかたちでお互いにつながることができます」とマローニー会長エレクト。「ロータリーは、ロータリーがなければ出会うことがなかった人びと、職業上の機会、私たちの支援を必要とする人たちとのつながりをもたらしてくれます」

さらに、多様な会員から成る会員増強委員会を設立することで、現在クラブに反映されていない地域社会の人たちを特定するようすべてのロータリークラブとローターアクトクラブに促しました。

また、「ユニークなネットワークを駆使するロータリーを通じて私たちは、人類の素晴らしい多様性とつながり、共通の目的において未永く続く深い絆を創り出します。世界がこれまで以上に分断する今日、私たち全員をつなぐのはロータリーです」と続けました。会長エレクトはさらに、忙しい職業人や家族の都合でも忙しい会員にもリーダーの役割を果たしてもらえよう、さまざまな例会の内容や奉仕プロジェクトの機会を提供するよう促しました。

「ロータリーでの活動と家族との時間が競合せず、互いに補完し合うような文化をつくっていく必要があります」と会長エレクト。「これには、現在の文化を変えるための現実的なステップを取ることで、つまり、期待値を現実的に受け止め、スケジュール作りを熟考し、すべてのレベルのロータリー行事に子どもを受け入れることを意味します」

国連との関係

2019 - 20 年度、ロータリーは世界中で会長主催会議を主催します。この焦点は、[国連](#)との関係と、多くのロータリー奉仕プロジェクトが支援する国連の持続可能な開発目標です。詳しい情報は、7月に発表されます。

2020 年、国連はその創設と平和の推進という使命に基づいた活動の 75 周年を迎えます。ロータリーは、国連憲章につながった 1945 年のサンフランシスコ会議で相談役を務めるために米国が招へいた 42 の組織の一つでした。それから何十年もの間、ロータリーは世界中の人道的課題に取り組むため、国連と共に活動してきました。国連は今日、ロータリーに対し、非政府組織の相談役に対して与える中で最高の立場を認めています。

マローニー会長エレクトは次のように述べました。「ロータリーは、より健康で、平和で、持続可能な世界に対する国連の継続したコミットメントを共有しています。また、ロータリーはほかの組織にはかなわないものを提供します。それはつまり、奉仕と平和という精神の下に世界中の人びとがつながることができ、目標に向かって意義ある行動を起こすことのできるロータリーのインフラです」

記事 : Arnold R. GrahI

<https://www.rotary.org/en/node/5763>

2019-2020 年度ロゴマーク

